



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月10日

上場会社名 フマキラー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4998 URL https://www.fumakilla.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大下 一明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐々木 高範 TEL 0829-55-2112
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	29,201	6.8	△254	—	△99	—	△936	—
2019年3月期第3四半期	27,343	△13.0	△790	—	△706	—	△560	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △987百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 △1,457百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△56.81	—
2019年3月期第3四半期	△34.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	32,541	15,501	44.6	880.16
2019年3月期	42,180	17,028	38.3	980.45

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 14,507百万円 2019年3月期 16,160百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	26.00	26.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,200	4.7	1,130	△0.5	1,410	5.8	340	△51.0	20.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	16,490,000株	2019年3月期	16,490,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	7,565株	2019年3月期	7,061株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	16,482,705株	2019年3月期3Q	16,483,311株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料における業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定の要素を含んでいます。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値とは異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(経営成績)

(単位：百万円)

指標等	2019年3月期 第3四半期累計	2020年3月期 第3四半期累計	増減額	増減率 (%)
売上高	27,343	29,201	1,858	6.8
営業損失 (△)	△790	△254	535	—
経常損失 (△)	△706	△99	606	—
親会社株主に帰属する四半期 純損失 (△)	△560	△936	△375	—
1株当たり四半期純損失 (△)	△34円00銭	△56円81銭		

(国内・海外売上成績)

(単位：百万円)

	2019年3月期 第3四半期累計	2020年3月期 第3四半期累計	増減額	増減率 (%)
国内	14,588	14,820	231	1.6
海外	12,754	14,381	1,626	12.8
合計	27,343	29,201	1,858	6.8
海外売上構成比	46.6%	49.3%		

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）におけるわが国の経済は、雇用環境や企業業績の改善が進んだことから緩やかな景気回復基調が続いています。一方、世界経済においては、米中間の貿易摩擦の長期化等の懸念から、下振れリスクを含んだ状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「ひとの命を守る。ひとの暮らしを守る。ひとを育む環境を守る。わたしたちは、世界中の人々がいつまでも安心して快適に暮らすことのできる社会づくりに貢献していきます。」という経営理念のもとで、コア事業の殺虫剤、家庭用品、園芸用品の成長カテゴリーに新価値創造型新製品を積極的に投入し、既存事業の強化・育成を図るとともに、コストダウンや経費の効率的な運用等による利益構造の改革及び海外事業の強化拡大等の課題に努めてまいりました。

売上高は、前年同期比6.8%増の292億1百万円（為替変動の影響を除くと8.2%増）となりました。

国内売上は、園芸用品部門、その他の部門が増収となりましたが、殺虫剤市場が4月から6月にかけての天候不順の影響を受けた一方で、8月後半からの残暑が長引いたことで盛り返した結果、前年並みとなりましたが、当社は4月から6月の最盛期における売上減の影響から減収となっていました。8月以降の残暑で市場での商品の消化が進み、返品が減ったこともあり、殺虫剤売上は前年同期比2.8%減と減収幅が改善しました。その結果、国内合計では前年同期比1.6%増の148億20百万円となりました。一方、海外売上は、インドネシアの子会社の売上が好調に推移し、円貨ベースでは前年同期比12.8%増の143億81百万円（為替変動の影響を除くと15.7%増）となりました。

次に、売上原価ですが、前年同期より15億17百万円増の213億62百万円となりました。その結果、売上原価率は73.2%で、前年同期より0.6ポイント増となりました。原価率のアップ要因は、売上構成が変動したこと等によるものです。

これらの結果、売上総利益は78億38百万円（前年同期比4.5%増）となり、返品調整引当金調整後の差引売上総利益は80億37百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

販管費につきましては、経費の効率的運用と節減に努めた結果、販管費は大きく減少し、前年同期比2.7%減の82億92百万円となりました。

これらの結果、営業損失は2億54百万円（前年同期は7億90百万円の営業損失）、経常損失は99百万円（前年同期は7億6百万円の経常損失）となりました。四半期純損益につきましては、親会社の繰延税金資産の取崩し等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は9億36百万円（前年同期は5億60百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

次に、商品部門別の概況についてご報告申し上げます。

(単位：百万円)

	2019年3月期 第3四半期累計	2020年3月期 第3四半期累計	増減額	増減率 (%)
殺虫剤	20,207	21,638	1,430	7.1
家庭用品	1,247	1,236	△10	△0.9
園芸用品	1,683	1,695	12	0.8
防疫剤	1,345	1,329	△15	△1.2
その他	2,860	3,301	441	15.4
合計	27,343	29,201	1,858	6.8

殺虫剤部門

殺虫剤部門では、国内におきましては、4月初旬から6月にかけての天候不順による影響を強く受け、8月以降残暑が長引き売上が回復基調となり市場の商品消化も進んだことから、10月以降の返品が減少し、依然最盛期である第1四半期の売上減の影響が残っているものの、前年同期比2.8%減と減収幅が改善しました。

一方、海外におきましては、昨年天候の影響を受けて落ち込んだインドネシアの子会社の売上が回復したことから、前年同期比13.0%増の増収となりました。

これらにより、国内及び海外の殺虫剤合計の売上高は前年同期比7.1%増の216億38百万円（前年同期比14億30百万円増）となりました。

家庭用品部門

家庭用品部門は、「シューズの気持ちプレミアム280ML無香性」の売上が引き続き好調に推移し、主力のアルコール除菌剤も出荷ペースで好調に推移し、競争の激化の中、最終的な売上が前期を上回る結果となりました一方で、花粉関連商材が直前期に販売した商品の返品が増加した結果、家庭用品合計の売上高は前年同期比0.9%減の12億36百万円（前年同期比10百万円減）となりました。

園芸用品部門

園芸用品部門は、「虫よけ除草王プレミアム」を中心とした除草剤の売上が順調に推移し、不快害虫用殺虫剤も前期を上回る売上となりました一方で、主力の殺虫殺菌剤が天候不順の影響等により売上が減少した結果、園芸用品合計の売上高は、前年同期比0.8%増の16億95百万円（前年同期比12百万円増）となりました。

防疫剤、その他の部門

防疫剤部門の売上高は、13億29百万円（前年同期比15百万円減、1.2%減）となりました。

その他の部門の売上高は、子会社のフマキラー・トータルシステム(株)のシロアリ施工工事が好調で、33億1百万円（前年同期比4億41百万円増、15.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産額は、前連結会計年度末に比べて96億39百万円減少し、325億41百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が8億87百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が83億43百万円、たな卸資産が13億63百万円、投資有価証券が2億62百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べて81億13百万円減少し、170億39百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が10億7百万円、電子記録債務が14億24百万円、短期借入金が54億69百万円、売上割戻引当金が2億57百万円、返品調整引当金が2億18百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べて15億26百万円減少し、155億1百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が13億64百万円、その他有価証券評価差額金が1億63百万円、為替換算調整勘定が1億36百万円減少したこと等によるものであります。

自己資本比率は6.3ポイント増加し、44.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関しましては2019年12月9日の決算発表時点と変更はありません。なお、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,087,032	5,974,965
受取手形及び売掛金	12,463,230	4,119,502
電子記録債権	133,383	89,800
商品及び製品	6,893,484	5,923,418
仕掛品	1,051,239	940,704
原材料及び貯蔵品	2,016,164	1,733,065
その他	1,201,437	736,361
貸倒引当金	△1,404	△3,218
流動資産合計	28,844,567	19,514,599
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,702,764	1,623,400
機械装置及び運搬具(純額)	1,841,995	1,657,979
工具、器具及び備品(純額)	255,459	196,253
土地	785,086	787,231
リース資産(純額)	26,987	19,914
使用権資産(純額)	—	435,623
建設仮勘定	205,732	301,309
有形固定資産合計	4,818,025	5,021,711
無形固定資産		
のれん	799,597	734,688
商標権	677,200	613,456
その他	579,157	391,042
無形固定資産合計	2,055,956	1,739,188
投資その他の資産		
投資有価証券	6,040,345	5,777,801
退職給付に係る資産	89,888	89,583
その他	519,603	575,975
投資損失引当金	△44,990	△33,763
貸倒引当金	△142,629	△143,931
投資その他の資産合計	6,462,217	6,265,665
固定資産合計	13,336,198	13,026,564
資産合計	42,180,766	32,541,163

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,944,914	2,937,861
電子記録債務	2,221,516	796,824
短期借入金	13,135,785	7,666,358
リース債務	9,317	73,798
未払法人税等	172,430	217,616
賞与引当金	415,264	249,958
役員賞与引当金	—	2,056
売上割戻引当金	438,741	180,827
返品調整引当金	651,095	432,359
その他	2,589,549	2,709,837
流動負債合計	23,578,614	15,267,498
固定負債		
リース債務	17,670	160,342
退職給付に係る負債	402,685	439,832
役員退職慰労引当金	488,771	519,689
資産除去債務	9,687	9,779
その他	654,998	642,119
固定負債合計	1,573,812	1,771,763
負債合計	25,152,427	17,039,261
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,698,680	3,698,680
資本剰余金	4,797,103	4,797,107
利益剰余金	6,159,494	4,794,529
自己株式	△5,379	△6,007
株主資本合計	14,649,898	13,284,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,059,882	1,896,367
為替換算調整勘定	△508,004	△644,559
退職給付に係る調整累計額	△41,098	△28,887
その他の包括利益累計額合計	1,510,779	1,222,919
非支配株主持分	867,661	994,672
純資産合計	17,028,338	15,501,901
負債純資産合計	42,180,766	32,541,163

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	27,343,286	29,201,682
売上原価	19,844,919	21,362,821
売上総利益	7,498,366	7,838,861
返品調整引当金戻入額	622,448	548,765
返品調整引当金繰入額	391,633	350,330
差引売上総利益	7,729,182	8,037,296
販売費及び一般管理費	8,519,846	8,292,078
営業損失(△)	△790,664	△254,782
営業外収益		
受取利息	22,451	55,747
受取配当金	102,900	113,584
為替差益	—	10,033
その他	109,144	99,277
営業外収益合計	234,496	278,642
営業外費用		
支払利息	25,658	43,732
売上割引	73,695	71,753
為替差損	37,468	—
その他	13,217	8,195
営業外費用合計	150,041	123,681
経常損失(△)	△706,208	△99,821
特別利益		
固定資産売却益	2,722	8,003
投資有価証券売却益	2,530	—
受取保険金	28,963	—
特別利益合計	34,216	8,003
特別損失		
固定資産除売却損	31	28,872
投資有価証券評価損	—	95
投資有価証券売却損	—	1,714
関係会社株式評価損	—	7,244
役員退職慰労金	28,400	—
借入金繰上返済関連費用	29,777	—
投資損失引当金繰入額	—	2,267
特別損失合計	58,209	40,193
税金等調整前四半期純損失(△)	△730,201	△132,011
法人税、住民税及び事業税	352,546	546,376
法人税等調整額	△651,785	44,062
法人税等合計	△299,238	590,438
四半期純損失(△)	△430,963	△722,450
非支配株主に帰属する四半期純利益	129,536	213,958
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△560,499	△936,408

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△430,963	△722,450
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△652,914	△163,515
為替換算調整勘定	△389,352	△114,808
退職給付に係る調整額	15,325	13,429
その他の包括利益合計	△1,026,941	△264,895
四半期包括利益	△1,457,904	△987,345
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,546,014	△1,224,267
非支配株主に係る四半期包括利益	88,110	236,922

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社の在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。

これに伴い、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースについて使用権資産およびリース債務を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース債務に係る支払利息を計上しております。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表において、有形固定資産の「使用権資産(純額)」が435,623千円増加、無形固定資産の「その他」が245,966千円減少、流動負債の「リース債務」が66,100千円増加、固定負債の「リース債務」が145,927千円増加、「その他」が8,918千円減少、利益剰余金が27,966千円減少しております。

なお、従来無形固定資産の「その他」に含めて記載しておりました借地権245,966千円につきましては、第1四半期連結会計期間より「使用権資産(純額)」に含めて記載しております。

また、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	日本	東南アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,074,701	11,620,678	26,695,380	647,906	27,343,286
セグメント間の内部売上高又は振替高	910,303	802,289	1,712,592	—	1,712,592
計	15,985,004	12,422,967	28,407,972	647,906	29,055,878
セグメント利益又は損失(△)	△1,677,633	520,365	△1,157,267	144,646	△1,012,621

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,157,267
「その他」の区分の利益	144,646
セグメント間取引消去	221,956
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△790,664

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	日本	東南アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,599,509	12,977,476	28,576,986	624,696	29,201,682
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,222,108	1,066,639	2,288,747	3,976	2,292,724
計	16,821,618	14,044,115	30,865,734	628,673	31,494,407
セグメント利益又は損失(△)	△1,731,493	1,271,330	△460,162	△22,765	△482,928

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△460,162
「その他」の区分の損失(△)	△22,765
セグメント間取引消去	228,146
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△254,782

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。